

外国語活動（英語活動）の実践

守谷市立黒内小学校

1 はじめに

本校では、守谷市の外国語活動（英語活動）の目標達成のために、全職員がALTと協力し、授業を実践する努力をしている。多くの児童が外国語に触れるチャンスをもっており、自分のことや守谷市のことを英語で発信できるように、発達段階に応じて基礎的な技能を身につけられるよう取り組んでいる。

2 具体的な実践内容

（1）特例校としての取組

① 低学年の実践

低学年の生活科の目標は、人との関わりである。相手とコミュニケーションを図るときの表情、声のかけ方や大きさなど、基本的な技能の習得を目指している。外国語に関しては、多くの児童が身近なものと感じており、週に1時間の活動では物足りなく感じているほどである。その意欲を維持できるよう、低学年では、あいさつや色、数などの基本的な単語を使い、コミュニケーションをしながら活動ができるような展開を心がけた。聞きとったことを大きな声で練習し、発音できる児童が増えた。

② 中学年の実践

低学年で習得した表現方法や単語をもとに、インタビューやグループ活動を多く取り入れ活動ができた。総合的な学習の時間では、低学年と同様、「人との関わり」を中心に探究活動に取り組んでいる。相手とコミュニケーションをするときの声の大きさ、表情、身振り手振りを交えることの大切さを伝えながら活動ができた。質疑応答の時は、単語一言だけで済ませるのではなく、文で答えることを意識させ、活動に取り組むことができた。

（2）小中一貫教育の視点を意識した取組

今年度もインタラクティブフォーラムに参加でき、児童の英語に対する意欲が高まった。参加後の作文には、自由に会話をしている中学生のようになりたい、という気持ちを綴ったものが多かった。英語でコミュニケーションするためには、フォニックスが大切であることを伝え、文字と音の違いについて学習をした。また、コミュニケーションチャレンジの実施にあたり、ペアでのインタビュー活動を多く取り入れ、質問されたことに対して、文で答えるというやり取りを多く取り入れた。

3 学校独自のアプローチ

（1）英語クラブ・・・英語に興味がある児童が多いのでクラブを新設した。電話でのやり取りや、買い物の仕方、外国の食事など、中学校で学習する内容であり、かつ日常で役立つトピックを取り上げ、会話をした。基本的な表現を覚え、実際の場面を想定して練習に取り組んだ。また、英語の歌を取り上げた時は、練習した単語がたくさん使われていることを知り、小学生でも、十分歌えることが分かり、児童は自信を持って歌を歌うことができた。

（2）Enjoy English・・・毎週火曜日の昼休みに低・中・高の3グループに分かれ、ALTと英語を楽しむ時間を設けた。ALTが物語の読み聞かせを行い、その内容について質疑応答をする活動である。授業では、話す活動が大部分である。しかし、この時間は、じっくりと英語を聞き、授業で学習した表現を使い、ALTの質問に答える活動を多くした。児童は、英語で物語を理解できた、という達成感を持つこともできた。

4 成果と課題

基本表現を繰り返し練習し、戸惑うことなく返答することができるようになった。教師が、9年間での英語学習の流れを意識し、ALTと授業を組み立てることができるようになった。今後の課題は、どのような活動が英語学習に効果的かを考えることである。児童が常に意欲を持ち、力を高めるために、様々な活動内容を試行錯誤しながら取り入れていきたい。

【実践事例：第2回外国語活動推進委員会】

黒内小学校 第4学年 英語活動案

指導者 HRT1 小林 綾乃

HRT2 槇野 綾子

ALT ローレン ニューマン

1 単元名 時間をたずねよう「What time is it?」

2 本時の学習

(1) 目標

- ・What time is it?を用いて、相手に時間をたずねる。
- ・It's ～.と答えてもらった内容を聞き取る。

(2) 展開

時間	学習活動及び内容	○教師の支援 ㊦評価 太字 本時の工夫点 ◆学びのプランとの関連		
		HRT1	HRT2	ALT
2	1 あいさつ	○英語で挨拶をする。	○児童と一緒に挨拶をする。	○児童と一緒に挨拶をする。
3	2 ウォーミング・アップ Let's sing a song. 「countries」	○歌に合わせて、国名の復習をさせる。 ○本時の表現を確認させる。	○国名が分からない児童を個別に支援する。	○ウォーミング・アップの指示を出す。 ○本時の表現を発表する。
2	3 本時の表現を確認する。 What time is it? It's ～.	○カードを使って活動の仕方を説明する。 ・ペアでの活動を行い、発話量を増やす。	○やり方が分からない児童を個別に支援する。 ◆相手の目を見て質問する。	○やり方をデモンストレーションする。 ○探すことができた児童を称賛する。
10	①matching time (ペア) 本時の表現を使って、同じ時刻カードをもっている児童を探す。	・グループ活動を行い、多くの友人とコミュニケーションを行う機会を与える。 ○ポイントを記入する。	○グループを作らせ、並ばせる。 ○うまく聞き取れない児童の支援をする。	○ゲームのやり方を説明し、指示を与える。 ○ポイントの高いチームがチャンピオンであることを伝える。 ○質問の仕方や、ワークシートの使い方をデモンストレーションする。 ○質問ができた児童を称賛する。
10	②whisper game (グループ) 6チームに分かれ、聞き取った時刻を相手に正確に伝える。	○児童の役割で、デモンストレーションを行う。 ・個人で ALT に質問し、活動の確かめをさせる。 ○児童が積極的に時間をたずねたり、答えようとしたりしている。(観察)	○迷っている児童を支援する。 ◆メモをとりながら聞かせる。	
10	③time around the world (個人) 各国の時間をたずね、ワークシートに記入をする。 ・ What time is it in America? — It's 1:00 AM.	○ワークシートをもとに、質問に答えさせる。 ○カードに記入させる。	○答えられた児童を称賛する。	○指示を出す。
5	④まとめ 時間を確認する。	○元気に挨拶をする。	○元気に挨拶をする。	○終わりの挨拶を元気に行う。
2	5 自己評価			
1	6 終わりのあいさつ			